

# データの民主化と ガバナンスを実現するデータ マーケットプレイス

## メリット

- データ利用者は信頼できる関連データを見つけることが可能
- 業務担当者が使用している任意の分析ツールへデータを直接提供
- データアクセスとデータプライバシーの要件を厳格に管理
- 一般的なデータ要求を追加の調査を行うことなく簡単に再利用

## 組織のあらゆるユーザーのデータ要件に応えるデータ民主化マーケットプレイス

企業が収集・保存しなければならない、業務に不可欠なデータがこれほど多かったことはかつてありませんでしたが、先見の明があるビジネスリーダーはこれらのデータがイノベーション、収益向上、効率化、コスト削減につながることを知っています。また、こうした情報へのアクセスを必要とする業務担当者がこれほど多かったことも、より責任あるデータ利用／管理を求めるデータプライバシー規制がこれほど多かったことも、かつてありませんでした。こうした要因が、企業におけるデータガバナンスプログラムの成功を脅かしています。

データ主導型企業のビジネスリーダーは、利用可能なデータを理解し、そのデータが信頼できるかどうかを判断し、利用権限の有無を明確に把握する必要があります。しかし、重要な業務上の意思決定を行う担当者の多くが、意思決定の基盤になるデータの文脈（コンテキスト）を理解することに苦労している場合があります。

データへの信頼を確立することで、不適切な使われ方をしているデータと（結果としてデータ負債化）、適切かつ賢明に利用され確実に新たな価値を生み出すことができるデータの違いが明らかになります。データ品質を信頼できれば、企業は予測可能で信頼性の高い成果を達成して、データ主導の結果を最適化できます。また、データプライバシーとデータ保護を信頼できれば、適切な関係者はデータが利用者の期待どおりの用途に責任をもって使用されていることを確信できます。同様の理由で、信頼はリスクの管理と緩和に際しても重要です。

CDO（最高データ責任者）とデータガバナンスチームはデータのコンテキスト、データ品質、データポリシーの管理において中心的な役割を担いますが、データの内容やニーズへの関連性を把握するためのビジネスコンテキストの解釈において必ずしもユーザーを支援するわけではありません。また、管理対象のデータの量とデータ利用者のアクセス性向上要求は爆発的に増加し、データガバナンスチームとデータエンジニアはその対応に苦労しています。

インフォマティカの統合および自動化されたインテリジェントなデータ民主化マーケットプレイスにより、データガバナンスワークフローと注文管理フレームワーク（セルフサービス機能を含む）を組み合わせて、データガバナンス環境を迅速かつコスト効率よく拡張できます。これは、データ資産専用のAmazonのようなものです。データマーケットプレイスはインテリジェントで自動化されているエンドツーエンドの体験を提供し、データ利用者はデータの購入、探索、コンテキストを理解し、権限が認められていればアクセスして使用することができます。データマーケットプレイスには、「作成と公開」、「購入と精算」、「実行と追跡」という3つの側面があります。Axon™ Data Marketplaceを使用すると、データガバナンスチームは、状況把握に役立つ管理されたデータセット（ポリシー、プロセス、データ品質などにリンク）をこれらすべてのステップで活用して、最適なデータコレクションをユーザーに提供できます。

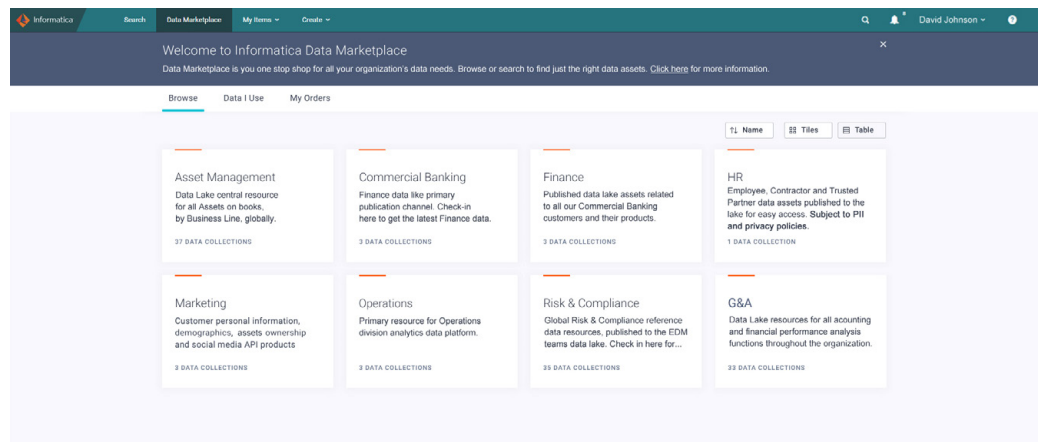


図1：Axon Data Marketplace

## 関連データを簡単に理解し閲覧できるようにカテゴリーで整理

Axon Data Marketplaceでは、データの価値創出プロセスにおける各ステップをメタデータインテリジェンスで自動化します。例えば、データのプロビジョニングについて考えてみましょう。

- データの利用者は、Axon Data Marketplaceを使用して、分析に関連するデータ資産を閲覧および検索し、それぞれのニーズに適したデータセットを「注文」できます。
- データの所有者は、誰がどのデータを要求しているかに関する自動通知を受け取り、要求を承認すべきかどうかを判断できます。
- その後、データ所有者はEnterprise Data Catalogの自動プロビジョニング機能とInformatica Intelligent Cloud Services™のクラウドデータ統合を活用して、利用者に必要な場所で承認済みのデータを直接提供できます。
- さらに、データガバナンスチームは、このソリューションを使用して、要求頻度が高いデータやメタデータのセットとビジネスコンテキストをあらかじめパッケージ化することもできます。これによって再利用が容易になり、データから最大限の業務上の価値を引き出すことができます。

統制の取れたデータ民主化は、今日すべての企業にとって必要なものです。これを実現する唯一の方法が、信頼できる成果を達成するための品質およびプライバシー保証とともに自動化された人工知能 (AI) /機械学習 (ML) ベースのインテリジェンスです。インフォマティカのデータ民主化ソリューションは、AI/MLベースのメタデータインテリジェンスであるCLAIRE<sup>®</sup> エンジンによるインテリジェンスと自動化に支えられています。

Axon Data Marketplaceは、ITコストを削減しながら、信頼できるデータを優れた一貫性、応答性、コスト効率で提供するソリューションです。これにより、業務担当者はデータ主導の意思決定をあらゆる規模で行えます。

## 誰がデータの民主化から恩恵を受けるのか

データアクセスの民主化には、企業のあらゆる役割に絶大な影響をもたらす可能性があります。

### CDO (最高データ責任者) とCDAO (最高データおよびアナリティクス責任者)

CDOとCDAOは、信頼できるデータをコスト効率よくタイムリーに組織全体に提供する責任を担っていますが、業務担当者からの大量のデータ要求に円滑に対応できる適格なデータエンジニアやデータスチュワード (データ管理/案内人) の不足に悩まされています。インフォマティカのソリューションでは、手作業のプロセスをインテリジェントな自動化プロセスに変えることができます。その結果、データエンジニアやデータスチュワードを増やす必要がなくなるだけでなく、業務担当者に対し、信頼できる管理されたデータを数週間ではなく数分レベルで大規模に提供することができます。

アナリティクスのベースとなるデータセットが異なっていると、CDAOが各部門への対応に苦慮したり、エンジニアによる分析結果が大きく違ったりします。Axon Data Marketplaceは、可能な限り最高のデータを入手できるようこれらの担当者を導き、時間の経過とともにアナリティクスの結果の一貫性と信頼性を高めます。

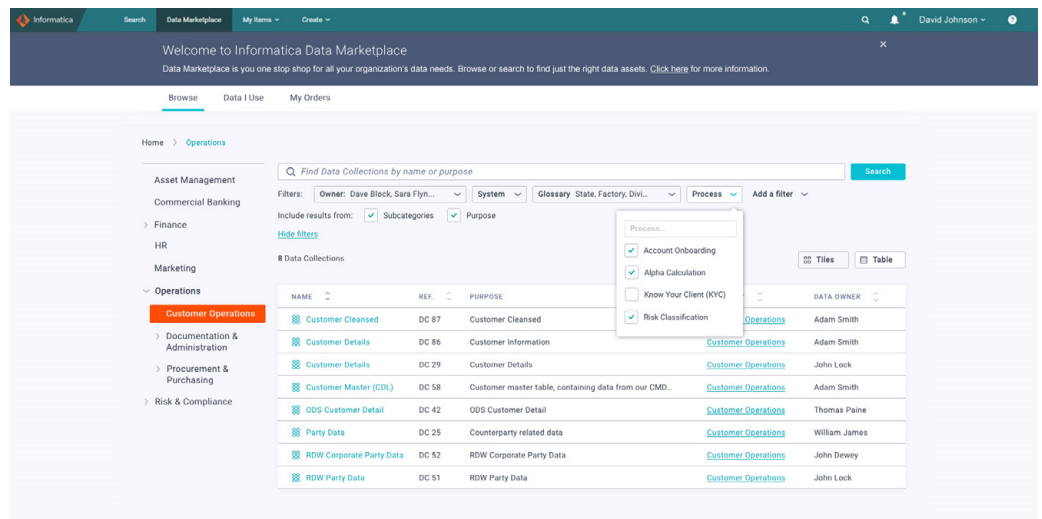


図 2 : Axon Data Marketplace

## 文脈的に関連する業務上の基準に基づき、利用可能なデータ資産をフィルタリング

### データ利用者（ユーザー）

データサイエンティスト、業務アナリスト、事業部門幹部は、重要なビジネスイニシアチブに利用できる適切なデータを迅速に利用できる必要があります。これらのデータをもとに、「次の最善の提案」を判断するための予測アナリティクスや、応答時間の短縮とコスト削減のための顧客プロセス分析を行います。実際のところ、業務上の意思決定のほぼすべては組織のデータを基盤に行われます。しかし、データ利用者は、必要なデータがどこにあるのか、アクセスについて誰に依頼すればよいのか、データが信頼できるものであるかどうかを把握していません。そのすべての原因は、企業がクラウドに移行して新しいクラウドデータウェアハウス/データレイクを構築することでインフラストラクチャをモダナイズ（最新化）していることにあります。こうして複雑化した結果、使用するデータに適用される可能性のあるプライバシーポリシーや機密保持ポリシーなどにデータ利用者が気付かないことが往々にしてあります。

Axon Data Marketplaceは、理解しやすいコンテキスト、一貫性のあるデータ品質、適用されるすべてのポリシーをあらかじめ組み込んだ関連データを提供します。データ利用者は、データ品質を評価したり、データを何に使用したか、またデータがどの程度役に立ったかなどについてコメントしたりすることができます。これによって、他のデータ利用者はデータが自分に関連があり有用なものであるか、どのデータを使用できるのか、予定した目的にそのデータを利用すべきかどうかを迅速に判断できます。バックグラウンドで継続的に実行されるAIと機械学習により、データ環境が徹底的に探索され、データ利用者に関連するデータセットがパッケージ化されます。

その結果、データ利用者は、適切に絞り込まれた関連性の高い完全なデータに必要に応じていつでもアクセスできます。

The screenshot shows the 'Customer Master (CDL)' dataset page in the Axon Data Marketplace. The page is divided into several sections:

- SUMMARY:** Customer master table, containing data from our CMD system to support customer analytics.
- DATA OWNERS:** Adam Smith
- TECHNICAL OWNER:** Henry David
- CATEGORY:** Customer Operations
- PROVISIONING:** This data mart is provisioned from the Data Lake, through automated mapping generated from Informatica Enterprise Data Catalog. See your EDC Admin for more information about Auto-Provisioning.
- TYPE:** Automated
- FORMAT:** twb
- METHOD:** Tableau Report
- SOURCE:** <http://mapswitabluau.infasaws.com/8000/#/projects>

Below these sections is a table of attributes for the 'Legal Entity' dataset:

REF.	NAME	DEFINITION	KDE	ORIGIN	LINKED FIELDS	ATTRIBUTE GLOSSARY	ATTRIBUTE GLOSSARY TYPE	DATA TYPE	DATA LENGTH
1	CMD ID	ISO-2 Character	True	Sourced	ACCT_ID	CMD_ID	Term	NUMBER	19
2	BIT ID	Country Name		Created / Set here	CONTACT_ID	BIT_ID	Entity	VARCHAR	10
3	Legal Name	Country Name	True	Sourced	NAME	Party Name	Entity	VARCHAR	255
4	Country	Country Name	True	Created / Set here	COUNTRY	Party Country	Entity	CHAR	2
5	KYC Status	Country Name	True	Created / Set here		KYC/KYR Sta	Entity	VARCHAR	6
6	Risk Rating	Country Name	True	Created / Set here	TIER	ScoreRating	Entity	CHAR	1
48	SIC Code	Country Name	True	Created / Set here		SIC 2007	Entity	VARCHAR	10
407	MI FID Class	Country Name	True	Created / Set here		MI FID Class	Entity	VARCHAR	255

図3: Axon Data Marketplace

## Marketplaceは、データの関連性、適合性、可用性、利用許可の判断に必要なすべての詳細情報を提供

### データガバナンス責任者

データガバナンスチームの責任者は、複数の事業部門と協力する必要があります。各事業部門には、サイロ化した独自のデータガバナンスポリシーがあり、場合によってはデータにアクセスするための独自のチームもあります。誰もが理解できる共通のデータ記述言語に基づいて、情報を理解し情報にアクセスするための共通のプログラムを作成するには、可視性が必要です。可視性がなければ、データガバナンスチームは、サイロ状態を解消して、データを標準化し、他の価値の高い目的にデータを再利用することはできません。そのため、データガバナンスチームは信頼できるデータが利用者や企業にもたらす潜在的な価値を最大化することに多大な努力を払っています。これは、プログラム全体の成否に関わる問題です。

Axon Data Marketplaceは、社内の利用可能データのインベントリを自動作成し、一元管理されたプロセスを促進して、信頼できるデータを各事業部門の全利用者に必要に応じて提供することで、データガバナンスプログラムのサイロ状態を解消し、透明性を高めます。信頼性と管理性に優れたデータをより多くのソースから収集し、これらのデータに基づいてより多くのビジネスプロセスやイニシアチブに情報を提供すると、企業のデータガバナンスプログラムの効果を高め、より多くの業務上の価値を引き出せます。

### データエンジニア

データエンジニアは業務担当者の求めるデータを即座に理解してオンデマンドで提供することを期待されていますが、これはデータエンジニアにとってストレスとなっています。データの利用者からの要求はいずれも1回限りのもので、繰り返し発生する作業を自動的に検出して解消することもできません。要求の多くは、利用者の業務プロセスと機能に固有の、馴染みのない言語で記述されているため、技術メタデータに変換してデータエンジニアリングプロジェクトで再利用するのも一苦勞です。また、データエンジニアが、場所を特定できないデータやアクセス方法がわからないデータの作成を任されることも珍しくありません。こうした不明確さがデータエンジニアリングのプロセスに摩擦をもたらし、高コストを招くだけでなく、引き出せる価値を低下させます。

インフォマティカの一元化されたマーケットプレイスでは、クラウドデータウェアハウス/データレイクに保存されたデータなど、信頼性、管理性、保護性に優れたデータにすべての事業部門のすべてのデータ利用者がセルフサービスでアクセスできます。バックエンドプロセスのインテリジェンスと自動化により、データエンジニアはすでに作成されているデータ資産を再利用して、さまざまな事業部門からの数多くのデータ要求に応えることができます。既存のデータコレクションに基づいて新しいデータコレクションを作成すること（いくつかの項目の追加など）をデータ利用者から要求された場合は、データエンジニアはマーケットプレイスで新しいデータセットを他者が利用できるように公開することが可能です。こうして再利用を促進することで、データエンジニアのすべての作業を最大限に活用できます。さらに、プロジェクトごとに常に最適なデータを調達できるだけでなく、これらのデータは常に業務担当者が求める形式と最適な品質で、適切なポリシーを適用した状態で提供されるようになります。

## インフォマティカについて

デジタルトランスフォーメーションによって我々の期待値が変化しています。より良いサービスを、素早く、便利に、低コストで利用したいという期待が高まっているのです。企業も状況に応じて変化する必要があります。そしてそのヒントは「データ」にあります。

エンタープライズ向けクラウドデータ管理で世界をリードするインフォマティカは、俊敏性の向上、新たな成長機会の獲得、新しいソリューションの開発を実現するための洞察を通じて、あらゆる産業や分野の企業がインテリジェントにビジネスをリードできるよう支援します。インフォマティカは、あらゆるデータを徹底的に重視し、企業の成功に必要なとされる汎用性を提供します。

インフォマティカは、企業がこれからのインテリジェントな破壊的イノベーションを推進できるよう、当社が提供するあらゆるサービスを通じてデータの力を継続的に引き出すことを支援します。

## プライバシーおよびセキュリティ責任者

CPOやCISOなど、企業データのプライバシーおよびセキュリティ責任者は、データの公開によって悪用のリスクが高まる恐れがある場合、データマーケットプレースの個人データと機密データから価値を引き出すことを望むデータスチュワードと意見が合わないことがあります。データスチュワードは、データを保護して「ロックダウン」し続ける方針に抵抗を示します。ただし、これは二者択一の問題ではありません。Axon Data Marketplaceでは、データを安全に利用できる形で提供しながら、不適切な使用によるリスクエクスポージャーを制限することが可能です。両方の長所を兼ね備えたAxon Data Marketplaceは、データプライバシーを制御でき、データの保護と透明性の統合機能を介してデータの信頼性を高めます。Axon Data Marketplaceでは、データガバナンスのベストプラクティスを適用してリスクエクスポージャーを管理し、適切なデータ利用とマーケットプレースのポリシーを確実に合致させることができます。

さらに、信頼性保証のために、適切な関係者向けの安全なデータアクセスを有効にすることができます。Axon Data Marketplaceは、適切なアクセスと使用のためのポリシーを適用し、業務を監視してデータプライバシーとデータ保護のための社内および業界規制要件に対応できているかどうかを判断します。

## 今後のステップ

市場をリードするデータ品質、メタデータ管理、プライバシー機能のすべてを備えた業界初のインテリジェントな統合データマーケットプレースを提供しているのは、インフォマティカだけです。AIベースの自動化によりデータキュレーションを全社規模に展開して、信頼できる情報を提供するインフォマティカのマーケットプレースによって、従業員のエンパワメントを実現し、価値を創出することが可能になります。信頼できる管理されたデータを活用してコラボレーションを強化し、ビジネスイニシアチブを促進する方法の詳細は、[こちら](#)をご覧ください。

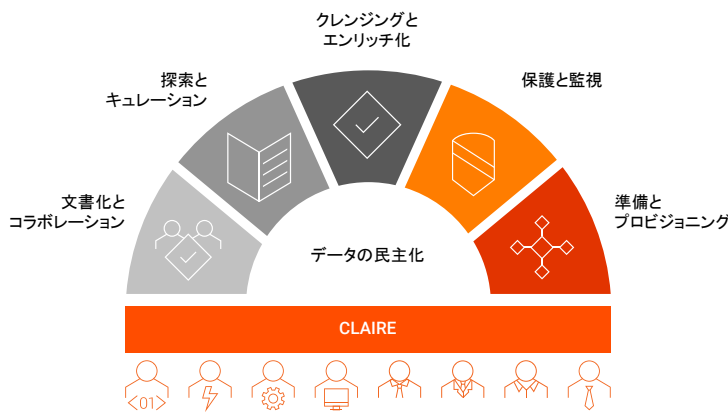


図4：データ民主化の自動化による業務上の価値



〒105-6226

東京都港区愛宕2-5-1 愛宕グリーンヒルズMORIタワー26階 電話：03-6403-7600（代表）FAX：03-3433-1021

IN17\_1020\_03822

© Copyright Informatica LLC 2020. Informatica, Informaticaロゴは、米国およびその他の国におけるInformatica LLCの商標または登録商標です。インフォマティカの商標の最新版は、<https://www.informatica.com/jp/trademarks.html>をご覧ください。その他すべての企業名および製品名は、各社が所有する商号または商標です。本文書に記載されている情報は、予告なく変更されることがあり、現状のまま提供され、明示または黙示を問わず一切の保証を伴いません。